

第2節 学び続けるよろこびのあるまちをつくる

だれもが自分の能力・感性を十分に発揮できるよう、自己の向上をめざします。一人ひとりが生涯を通じて学び続けることが生きがい（生きる目的）の一つとなり、生涯よろこびをもって学び続けることのできる社会をめざします。

1. 生涯学習を推進する

今、求められていること

- 生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図りたいといった市民意識が高まる中で、市民の学びを支えるとともに、これからのまちづくりを支える人材を育むことが求められています。
- 本市には特色のある6大学が立地しており、それらの持つ知識や技術を活用した学習機会の充実が求められています。

取り組みの方向

- 市民の生涯学習活動を支援するため、すべての世代でそれぞれの学習意欲に応じた学習機会を提供するとともに、学びをまちづくりに生かす取り組みを推進します。
- 市民の多様化・高度化する学習意欲に応えるため、大学と連携し、特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かした学習機会を提供するなど、市民の自発的な学習活動を支援します。

<主要な取り組み>

- 市民が学ぶ場所や機会の充実
- 生涯学習に関する情報提供の充実
- 市内6大学との連携による生涯学習講座の開催（再掲 P58）